

みずほCustomer Desk Report 2016/09/06 号(As of 2016/09/05)

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	USD/CHF	公示仲値 GBP/USD	103.91 AUD/USD
TKY 9:00AM	103.97	1.1158	116.01	0.9800	1.3295	0.7564
SYD-NY High	104.14	1.1182	116.10	0.9813	1.3376	0.7608
SYD-NY Low	103.15	1.1140	115.12	0.9773	1.3288	0.7562
NY 5:00 PM	103.45	1.1148	115.22	0.9800	1.3305	0.7583
USD/JPY Volatility 1M ATM (NY Close Lvl)	12.7/13.055		△25RR	0.100	Yen Put Over	
NY DOW	-	-	債券市場	日本2年債	-0.1850	▲0.6bp
NASDAQ	-	-		日本10年債	-0.0330	0.0bp
S&P	-	-		米国2年債	-	-
日経平均	17,037.63	111.95		米国5年債	-	-
TOPIX	1,343.85	3.09		米国10年債	-	-
シカゴ日経先物	-	-		独10年債	-0.0480	▲0.5bp
ロンドンFT	6,879.42	▲15.18		英10年債	0.7180	▲0.9bp
DAX	10,672.22	▲11.60		豪10年債	1.8920	3.9bp
ハンセン指数	23,649.55	382.85	為替市況	USD/CNH	6.6915	▲0.0069
上海総合	3,072.10	4.74		ドルインデックス	95.78	▲0.06
USDJPY 3M Vol	11.93	▲0.56%	商品市況	CRB指数	-	-
USDJPY 6M Vol	11.36	▲0.38%		NY金	-	-
EURJPY 3M Vol	10.92	▲0.23%		WTI	-	-
EURJPY 6M Vol	10.96	▲0.07%		Dubai Spot	45.59	3.46

【昨日の指標等】

Date	Time	Event		結果	予想
9月5日	10:45	中 財新・サービス業/総合PMI	8月	52.1/51.8	-/-
	11:30	日 黒田日銀総裁、講演	-	-	-
	16:50	仏 サービス業/総合PMI・確報値	8月	52.3/51.9	52.0/51.4
	16:55	独 サービス業/総合PMI・確報値	8月	51.7/53.3	53.3/54.4
	17:00	欧 サービス業/総合PMI・確報値	8月	52.8/52.9	53.1/53.3
	17:30	英 サービス業/総合PMI・確報値	8月	52.9/53.6	50.0/50.8
	18:00	欧 小売売上高(前月比/前年比)	7月	1.1%/2.9%	0.5%/1.8%

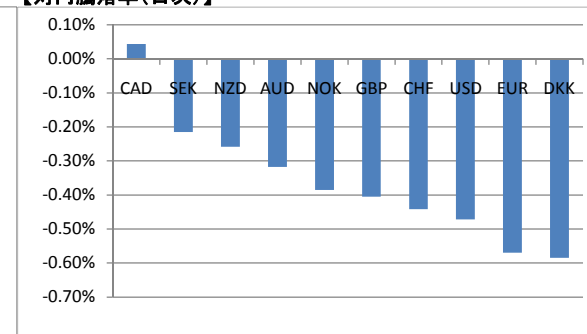
【本日の予定】

Date		Event		予想	前回
9月6日	10:30	豪 経常収支	2Q	-20.0B	-20.8B
	13:30	豪 RBA政策金利発表	-	1.50%	1.50%
	15:00	独 製造業受注(前月比/前年比)	7月	0.5%/-0.2%	-0.4%/-3.1%
	18:00	欧 GDP・確報値(前期比/前年比)	2Q	0.3%/1.6%	0.3%/1.6%
	23:00	米 労働市場情勢指数	8月	-	1.0
	23:00	米 ISM非製造業景況指数	8月	55.0	55.5
9月7日	2:00	欧 ダイセルブルーム・ユーログループ議長講演	-	-	-

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	102.50-104.00	1.1100-1.1200	114.50-116.00

【マーケット・インプレッション】

昨日の海外市場のドル/円相場は、揉み合い推移となった。東京時間にドル売り・円買いが進んだ流れを引き継ぎ、欧州時間入り後も売りが先行。ドル/円は103円台半ばから103.15まで下落するも、一段の売り材料に欠けたため下押しは限定的。その後は、米国がレーバーデーで取引参加者が少ないなか、103円台前半での狭いレンジでの取引に終始した。本日のドル/円相場は動意に乏しい展開を予想する。FED高官が利上げに向けて前向きな姿勢を示していることや、昨日、黒田日銀総裁から、次回会合時の「総括的な検証」は緩和縮小ではないとの発言が出たことが相場の下支えとなる一方で、米8月雇用統計をはじめとして米経済指標の結果は必ずしも芳しくなく、市場参加者は方向感を定めづらい。したがって、ドル/円は株価等リスクアセットの動向を横目に方向感に欠けるレンジ推移を予想する。

東京	週明けナイト時間のドル円は103.90近辺でオープンすると、先週金曜日の米雇用統計後のドル買いの流れを引き継ぎ一時104.14まで上昇。その後やや押し戻される格好で103.97レベルで東京時間オープン。日経平均株価は先週金曜日に米株が上昇した動きを受けて200円超上昇して寄り付いたものの、為替相場への波及効果は鈍く、ドル円は103.70近辺まで下落した。その後、再び104円台を回復する場面が見られたものの滞空時間は短く、黒田日銀総裁の講演が始まるとドル円は下落を開始。マフィ金利の深堀りも含め、緩和策を継続していくとの姿勢を示し、また一部で囁かれていた総括的検証=出口戦略へ向けた議論との見方は否定したものの、マーケット内には9月日銀金融政策決定会合での追加緩和に関する具体的なヒントを期待していた向きもあったと見られ、特段目新しさに欠ける内容に円買いを誘発。一時は103.70近辺で下げ止まったものの、後場に入り日経平均株価が上げ幅を縮小したことを受けて一段下落する展開となると、ドル円は103.28まで値を下げた。引けにかけて小幅に戻し、103.47レベルで海外時間に渡った。(東京15:30)
ロンドン	ロンドン市場のドル円は、103.47レベルでオープン。欧州勢参入後も、日銀総裁発言に対する失望売りが継続し、103.15まで下落。一服後は、G20首脳宣言に財政政策の機動的な実施が盛り込まれたこと等が意識されてか、103.49まで上昇。103.37レベルで海外市場へ渡った。ロンドンドルは、1.3318レベルでオープン。英8月サービス部門PMIは52.9(予想:50.0、前回:47.4)と、前月比で20年前の調査開始以降最大の伸びとなったことで、1.3376まで急上昇。しかし英保険大手がEU単一市場へのアクセスなければ事業移転する考えを示したことや、サウジ石油相が「増産凍結の必要はない」と発言したこと、上げを全て消し、結局オープンとほぼ同水準の1.3313レベルで海外市場へ渡った。ユーロドルは、1.1178レベルでオープン。独8月サービス部門PMIが速報値から下方修正され、約3年ぶりの低水準(結果:51.7、予想:53.3)となったことや、ユーロ圏8月総合PMIが、53.3から52.9へ下方修正されたことで、1.1140近辺まで下落。1.1150レベルで海外市場へ渡った。(ロンドン・トルフィア 00531 444 179 山本)
ニューヨーク	NY市場休場

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。